事務事業評価表

１．基本事項

作成日　平成25年08月14日(水)

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	深谷消防署	担当係	深谷消防署	管理番号	4521
総合振興計画 基本戦略		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□		
総合振興計画 主要プロジェクト					サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	000005 安全に暮らせるまちづくり＜生活安全＞	根拠法令個別計画等	消防力の整備指針 深谷市消防警防規程				
行政計画分野別施策名 中項目	000002 消防・救急体制の充実						
行政計画分野別施策名 小項目	000002 消防体制の充実						

事業概要	平成１５年６月、消火活動中の消防職員４名が殉職した神戸市内の火災を経緯に、安全管理面からの指揮体制整備の必要性が指摘され、平成１７年６月に当時の消防力の基準が改正され、全国の消防署に指揮隊を配置するよう指針が示された。深谷市消防本部では、平成２０年度に警防課へ指揮隊１隊を配置し、平成２４年度からは、深谷消防署、花園消防の２署２隊体制により、警防活動時の安全管理の確保と円滑・効果的な活動を推進している。
目的 ※何のために	警防活動時の安全管理の確保と、円滑・効果的な活動を推進するため。
対象 ※誰・何を対象に	消防職員
手段 ※どのように	訓練及び研修会を実施する。
成果 ※何を求めるか	災害活動時の職員受傷事故ゼロを目指す。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・ 指揮隊災害出場統計の作成	・
・ 指揮支援活動業務	・
・ 訓練及び警防活動時の安全管理	・
・ 災害活動技術の調査研究	・
・ 消防の訓練及び演習	・
・ 指揮資器材の維持管理業務	・

２．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

区　分			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年度別計画							平成２４年度から実施	
事業費	予算（現額）		0	0	0	0	0	0
	決算額		0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10
	人件費相当試算※１		0	0	0	0	763,500	789,600
			0	0	0	0	0	0
(総事業費試算)			0	0	0	0	763,500	789,600

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名 / 目標値 / 実績値 / 年度別目標値の設定根拠 / 実績値の出所・算出式	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標なし
■	活動指標１	訓練及び研修会実施回数	目標値	回 0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	2.00	□
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年間訓練計画に基づく目標値とする。						
		訓練及び研修会実施実績								
□	活動指標２	資器材の点検回数	目標値	回 0.00	0.00	0.00	0.00	365.00	365.00	□
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	365.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		資器材を常時使用できる状態に保つため年間を通して毎日（３６５日）点検を実施する						
		点検実施回数								
■	成果指標１	指揮隊出場率（指揮隊出場災害）	目標値	% 0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	100.00	□
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指揮隊が出場する２隊以上の活動事案での出場件数（平成２４年度は１１３件）						
		出動件数／要請件数×１００						１１３件／１１３件		
■	成果指標２	二次災害事故防止率（指揮隊出場災害）	目標値	% 0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	100.00	□
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指揮隊が出場する災害活動での職員の二次災害事故防止率						
		無受傷事故件数／全件数×１００								
□	成果指標３	資器材常時使用可能率	目標値	% 0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	100.00	□
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		車載されている全資器材の常時使用可能率						
		不能資器材／全資器材×１００								
□			目標値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠								
		(								

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 年間訓練計画どおりに訓練を実施できた。また、車載された全資器材を１年間３６５日、毎日点検を実施した。
成果（意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 指揮隊が出場した災害において、職員の受傷事故防止率１００％を達成できた。また、車載された全資器材の常時使用可能率１００％を達成できた。
効率性（効率的に事務を行っているか）	－	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	深谷消防署指揮係長　関根智和・高柳昌弘

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	
達成状況及びその効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	深谷消防署	担当係	深谷消防署	管理番号	4521

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

災害活動時における職員の受傷事故を防止するため、今後も引き続き災害活動時における安全管理を確保する必要があることから、現状のまま継続とした。

評価者	深谷消防署副署長　島田　伸幸

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

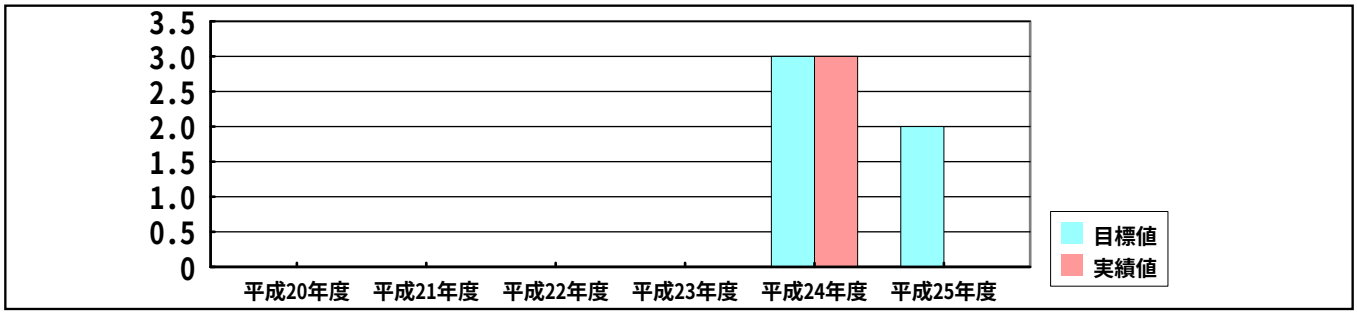
改善・改革案	指針では、指揮車に搭乗する指揮隊の隊員の数は、指揮車１台につき３人以上とされているが、他の消防車両を運用するに必要な人員確保のため、昼夜を問わず常時搭乗できる職員は２名となっている。 東日本大震災のような大規模災害や、姫路で発生した化学工場火災など、現体制では安全管理の確保が困難になる災害への体制確保を確立する必要がある。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

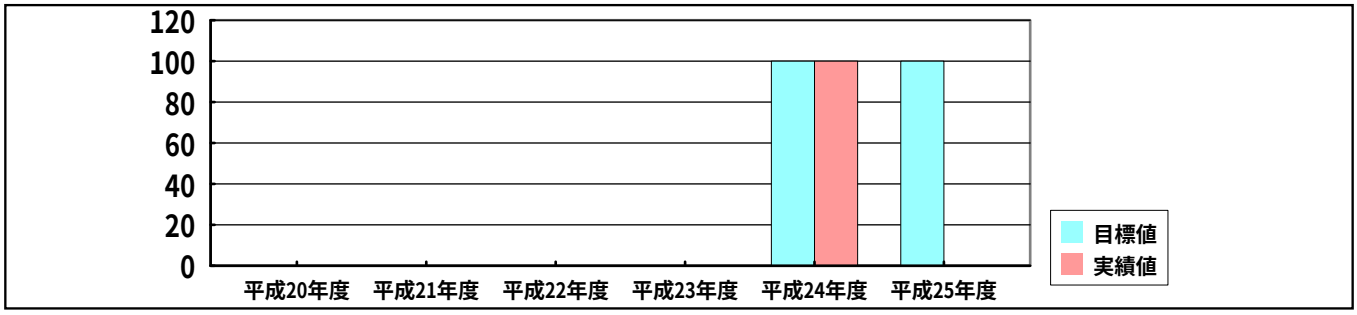
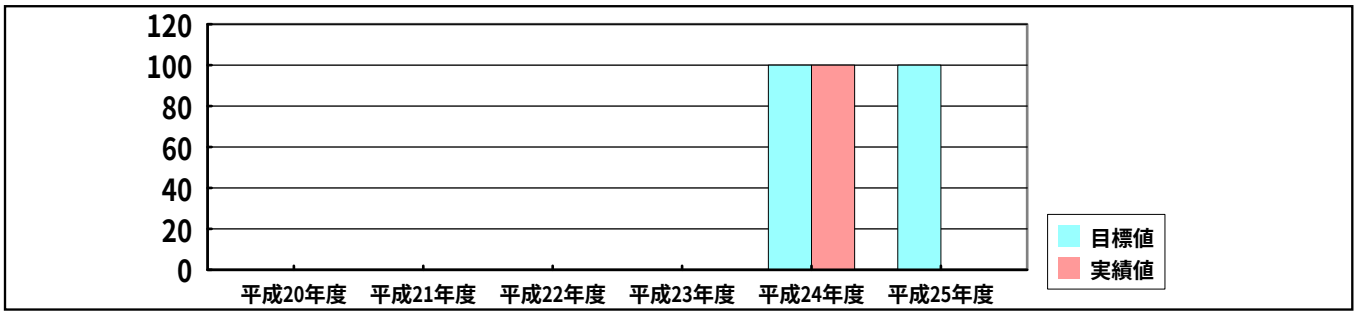
今後の課題	今年度についても、安全管理の確保と、円滑・効果的な活動を推進するための、指揮隊と各隊との連携訓練を実施する。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	訓練及び研修会実施回数



区分	成果指標１	指標名	指揮隊出場率（指揮隊出場災害）



区分	成果指標２	指標名	二次災害事故防止率（指揮隊出場災害）